



TITLE:

吉田城君へ (吉田城先生追悼特別号  
)-- (思い出)

AUTHOR(S):

小林(伊東), 佐起

---

CITATION:

小林(伊東), 佐起. 吉田城君へ (吉田城先生追悼特別号) -- (思い出). 仏文  
研究 2006, S: 311-311

ISSUE DATE:

2006-06-20

URL:

<https://doi.org/10.14989/138058>

RIGHT:

## 吉田城君へ

時が流れて、ひと月余り  
訃報の驚きは炎天に広がる  
日比谷44年卒34Rの教室  
見上げれば天井に風穴が開き  
城君の言霊が降り注いでいます

書店に走り著書を求め読みました  
テキストからイメージへ  
ブルーストと中世芸術の出会い  
に出会いました  
その深さに水面を漂うばかりです

願わくば惜別の荒波を鎮め  
星の光にお願いしましょう  
水先案内をおまかせしましたよ  
フランス文学の美しい岬めぐりへ  
遠泳の泳者が見えるでしょう？

2005年7月31日

小林（伊東）佐起 Saki ITO-KOBAYASHI